



平成23年2月22日

各 位

会 社 名 山陽電気鉄道株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 上 門 一 裕  
コ ー ド 番 号 9 0 5 2  
上 場 取 引 所 大証第1部  
問 合 せ 先 取締役総務本部マネージャー 荒 木 素 直  
(TEL 078-612-2032)

当社子会社（株式会社山陽百貨店）の固定資産の譲渡、  
特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社山陽百貨店（代表取締役社長：高野 勝）が、別添資料のとおり、固定資産の譲渡および平成23年2月期（平成22年3月1日～平成23年2月28日）の通期において特別損失を計上する見込みとなりました。それに伴い、平成22年10月7日に公表した平成23年2月期の通期の業績予想（連結・単体）について、別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、これに伴う当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上

各 位

上場会社名 株式会社 山 陽 百 貨 店  
 代 表 者 代表取締役社長 高野 勝  
 (コード番号 8257)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画統括ゼネラルマネジャー 岩野 誠  
 (TEL 079-223-1231)

### 固定資産の譲渡に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月 22 日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡を決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 譲渡の理由

現在、遊休資産となっている賃貸用土地・建物につきまして、当社は今後も事業用地として利用する予定はなく、資産運用の効率化をはかるため早期売却することといたしました。

#### 2. 譲渡資産の内容

##### (1) 譲渡資産の概要

資産の内容および所在地	帳簿価額	譲渡価額	現 況
神戸市西区長畑町 1 番 1 他 土地 1,168.27 m <sup>2</sup> 店舗棟建物 654.71 m <sup>2</sup> 事務所棟建物 132.84 m <sup>2</sup>	111 百万円	59 百万円	遊休土地・建物

##### (2) 譲渡による損益

譲渡により、固定資産売却損として 52 百万円の特別損失が発生する見込みです。

##### (3) 決済方法

平成 23 年 2 月 28 日に現金により決済。

#### 3. 譲渡先の概要

商 号	株式会社ユウキ自動車
本店所在地	神戸市西区伊川谷町有瀬 68 番地の 1
代 表 者	代表取締役 大西 弘
事 業 内 容	自動車の販売ならびに修理等
資本金の額	20 百万円
設立年月日	昭和 59 年 12 月 12 日
当社との関係	記載すべき資本関係、人的関係および取引関係はありません。

#### 4. 譲渡の日程

取締役会決議 平成 23 年 2 月 22 日  
 売買契約締結 平成 23 年 2 月 22 日  
 物件引渡日 平成 23 年 2 月 28 日 (予定)

5. 今後の見通し

当該固定資産の譲渡による業績への影響につきましては、本日公表の「特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上

各 位

上 場 会 社 名 株式会社 山 陽 百 貨 店  
 代 表 者 代表取締役社長 高野 勝  
 (コード番号 8257)  
 問合せ先責任者 取締役経営企画統括ゼネラルマネージャー 岩野 誠  
 (TEL 079-223-1231)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月期決算において特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 10 月 7 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

I. 特別損失の発生について

(1) 固定資産の譲渡に伴う特別損失

現在、遊休資産となっている賃貸用土地・建物の譲渡により、固定資産売却損として 52 百万円の特別損失が発生する見込みです。

なお、詳細につきましては、本日公表の「固定資産の譲渡に関するお知らせ」をご覧ください。

(2) 退職給付制度の移行に伴う特別損失

当社は、平成 23 年 3 月 1 日付で一時金と適格退職年金からなる退職給付制度を一時金と確定拠出年金へと移行することにしました。

これに伴い、確定拠出年金への追加拠出金額と適格年金制度廃止による退職給付債務の減少額の差額 25 百万円が特別損失として発生する見込みです。

II. 業績予想の修正について

平成 23 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,133	164	125	43	54 25
今回修正予想 (B)	20,568	243	216	138	171 88
増減額 (B - A)	435	79	91	94	—
増減率 (%)	2.2	48.1	72.9	216.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期)	20,781	219	175	136	169 39

平成 23 年 2 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,084	173	118	38	47 29
今回修正予想（B）	20,526	247	207	130	161 81
増減額（B－A）	442	73	88	92	—
増減率（％）	2.2	42.6	74.7	242.1	—
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 2 月期）	20,731	224	163	125	156 59

修正の理由

景気の先行き不透明感から顧客の低価格・節約志向がさらに強まり、百貨店には厳しい環境が予想されたため、下半期の売上高は前年比 5.0%の減少と予想しておりましたが、減少が前年比 0.9%と小幅に止まり、売上高は前回予想と比べて 442 百万円増加の 20,526 百万円となる見込みです。

一方、経費面では、予想通りの削減が達成できる見込みとなり、売上高増加に伴う売上総利益の増加により営業利益は 73 百万円増加の 247 百万円、経常利益は 88 百万円増加の 207 百万円となる見込みです。

また、当期純利益は上記に記載しました特別損失が発生するものの、譲渡資産の減損損失の認容に伴い税金費用が減少することにより、92 百万円増加の 130 百万円となる見込みです。

連結業績につきましては、個別業績予想の修正および連結子会社の動向に基づき修正いたします。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上